「世界のシネマレンズ市場2022年－2031年：製品タイプ別（単焦点/プライムレンズ、ズームレンズ）、解像度別（2K、4K）、エンドユーザー別」調査レポート（市場規模・動向・予測）を取り扱い開始しました

2022年11月4日
株式会社マーケットリサーチセンター

株式会社マーケットリサーチセンター（本社：東京都港区、世界の市場調査資料販売）では、「世界のシネマレンズ市場2022年－2031年：製品タイプ別（単焦点/プライムレンズ、ズームレンズ）、解像度別（2K、4K、その他）、エンドユーザー別（アマチュア、プロフェッショナル）」調査資料の販売を2022年11月4日
に開始いたしました。シネマレンズ市場規模、動向、予測、関連企業の情報などが盛り込まれています。

■レポートの種類：グローバル市場調査レポート
■レポートのタイトル：世界のシネマレンズ市場2022年－2031年：製品タイプ別（単焦点/プライムレンズ、ズームレンズ）、解像度別（2K、4K、その他）、エンドユーザー別（アマチュア、プロフェッショナル）
■英文タイトル：Cinema Lenses Market （Product Type: Single Vision/Prime Lenses and Zoom Lenses; Resolution: 2k, 4k, and Others; and End User: Amateur and Professional） - Global Industry Analysis, Size, Share, Growth, Trends, and Forecast, 2022-2031
■発刊日：2022年10月26日
■出版社：Transparency Market Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）
■レポート形態：PDF（Eメールによる納品）

■主な掲載内容
シネレンズ（映画用レンズ/シネマレンズ）は、いくつかの地域で映画産業のニーズを満たすため

に特別に作られたレンズです。フィルムレンズやシネマレンズは、連続した動きをとらえ、優れた映像品質を提供するため、映画制作に最適なレンズです。プライムレンズとズームレンズは、主に映画撮影におけるさまざまな種類のレンズです。シネマレンズは、4K、2K、8Kなど複数の解像度で提供されています。PLマウントを利用する高度な電子カメラの出現は、過去数年間、世界のシネマカメラレンズ市場の成長を形成する上で重要な役割を果たしてきました。シネマレンズ市場は、プロの撮影監督やアマチュアユーザーの間でシネマレンズの需要が高まっていることから、予測期間中に安定したペースで成長することが期待されています。

世界のメディア＆エンターテインメント産業は、世界中で安定したペースで成長しています。視聴者により良い劇場体験を提供するためにシネマレンズに高度な技術を統合することは、予測期間中に様々なタイプのシネマレンズの需要を促進すると予想される主要な要因の1つとなっています。映画用フルフレームシネレンズや望遠レンズなどのシネマレンズは、エンドユーザーの間でますます人気が高まっています。さらに、製品の商業化および広告宣伝は年々増加しています。このことは、世界中の熟練した撮影監督の間でシネマレンズの需要を促進しています。これは、予測期間中にシネマレンズの市場シェアを増加させるとも予想されます。リアルな画像と優れた品質を提供する製品を開発するためのシネマレンズメーカーの焦点の上昇は、今後数年間で世界のシネマレンズ市場を牽引すると予測されます。例えば、Canon USA
Inc.は、2つの異なるレンズを開発しました。CN-E20-50mm T2.4 L F/FP 広角ズームレンズと CN-E45-135mm T2.4 L F/FP
望遠ズームレンズです。これらのレンズは、映画のような美しさを表現するために設計されており、8Kカメラと組み合わせたときに、ストーリー性のある迫力ある映像を生み出すのに役立つ大口径のレンズです。

製品タイプ別に見ると、世界のシネマレンズ市場は、単焦点/主焦点レンズとズームレンズに二分されます。単焦点/主焦点レンズは、入手のしやすさと価格の手頃さから、予測期間中に世界のシネマレンズ市場で最大のシェアを占めると予想されます。これらのレンズは、カメラのズームレンズのように絶えず変化するものではなく、あらかじめ決められた数の固定パラメータを中心に設計されています。このため、写真やビデオの画質を向上させることができます。プライムレンズの焦点距離は、高いレベルの画質を提供するのに役立っています。したがって、シネプライムレンズの世界的な需要は、予測期間中に増加すると予想されます。

シネマレンズの世界市場は、解像度によって2k、4k、その他（6k、8kなど）に分類されます。2021年の世界市場では、4kセグメントが主要なシェアを占めています。同セグメントは、世界中で高品質なデジタルコンテンツに対する需要が増加していることから、予測期間中も市場における主要な地位を維持するとみられています。さらに、この範囲の解像度はデジタル映画撮影に適していると考えられており、複数のスマートデバイスで使用することができます。さらに、4k解像度の高い画素数は、細部を追加した、より自然な画像表現を提供します。

アジア太平洋地域は、同地域のメディアエンタテインメント産業の著しい成長に伴い、予測期間中に世界のシネマレンズ市場の最大シェアを占めると予想されます。インド、中国、韓国、日本などの国々における映画制作の増加が、今後数年間における同地域のシネマレンズの需要を促進すると予想されます。若者の映画や写真への傾倒の高まりも、アジア太平洋地域のシネマレンズの需要を押し上げています。
北米と欧州のシネマレンズ市場も近い将来、大きく成長すると予想されています。アマチュアや趣味のカメラマンによるドキュメンタリー撮影やVlog撮影のためのシネマレンズの採用が増加し、予測期間中にこれらの地域でのシネマレンズの売上を押し上げると予想されています。

シネマレンズの世界市場は、少数の大規模ベンダーがシェアの大部分を支配しており、統合され

ています。ほとんどの企業は、映画撮影に最適なレンズを開発するために、包括的な研究開発活動に多額の投資を行っています。製品ポートフォリオの拡大やM&Aは、主要企業が採用する主要な戦略です。世界のカメラレンズ市場のメーカーは、モバイル用シネマティックレンズやその他の関連製品を含むシネマティックビデオ用の最適なレンズの開発に注力しています。世界のシネマレンズ市場で活動している主要なプレイヤーは、Ang nieux, ARRI AG, Canon Inc., Carl-Zeiss AG, DZOFILM Inc, FUJIFILM Corporation （Fujinon）, Cooke Optics Ltd, Laowa Lenses （Venus Optics）, Leica Camera AG, Samyang Optics, Schneider Optics Inc,
シグマ株式会社、ソニー株式会社、上海莫吉科技有限公司,Simple Lab.
（スピリットラボ）、興和オプティメッド株式会社、エンジェルケアモニター、株式会社ドレル・インダストリーズ、ハイセンスなどです。

■レポートの詳細内容はこちら
https://www.marketresearch.co.jp/data1/cinema-lenses-market-product-type-single-visionprime-lenses-and-zoom-lenses-resolution-2k-4k/

■レポートに関するお問い合わせ・お申込みはこちら
https://www.marketresearch.co.jp/contacts/

■調査会社Transparency Market
Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）について
https://www.marketresearch.co.jp/Transparency－Market－Research/
株式会社マーケットリサーチセンターはTransparency Market
Researchの日本での正規販売代理店です。

■株式会社マーケットリサーチセンターについて
https://www.marketresearch.co.jp/
主な事業内容：市場調査レポート販売、市場調査サービス提供
本社住所：〒105－0004 東京都港区新橋1－18－21
TEL：03－6161－6097 FAX：03－6869－4797
マーケティング担当 marketing@marketresearch.co.jp

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com